

|             |                                                                                                                                                                                 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学 校 教 育 目 標 | 自ら学び、考え、判断して実行し、ともに生きる東っ子                                                                                                                                                       |
| 目 指 す 学 校 像 | ○夢の実現のため『確かな学力』を身につけ、『主体的に考え行動する力』をはぐくむ学校(エージェンシー)　○東小にかかわるすべての人が笑顔になる学校(Well-being)　○みんなの学校（児童・教職員・保護者・地域）(コミュニティ・スクール)                                                        |
| 重 点 目 標     | 1　20年後のエージェンシーを育む確かな学力の育成<br>2　ゆめが安心して語り合える居場所を保証する教育支援・相談体制・生徒指導の充実<br>3　地域と児童が共に元気になるコミュニティ・スクールの推進<br>4　安心・安全な教育活動の推進と環境整備<br>5　誰もが居心地のよい（Well-Being）学校をつくる教職員の資質向上と働き方改革の推進 |

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

|   |   |       |        |
|---|---|-------|--------|
| 達 | A | ほぼ達成  | （8割以上） |
| 成 | B | 概ね達成  | （6割以上） |
| 度 | C | 変化の兆し | （4割以上） |
|   | D | 不十分   | （4割未満） |

学びの質の向上に関する取組

心の子どもの発達やサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

| 学 校 自 己 評 価 |                                                                                                                                                                                                                                                              |                                         |                                                                                                                        |                                                                                                                 |           |     |             | 学校運営協議会による評価        |  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----|-------------|---------------------|--|
| 年 度 目 標     |                                                                                                                                                                                                                                                              |                                         |                                                                                                                        | 年 度 評 価                                                                                                         |           |     |             | 実施日令和 年 月 日         |  |
| 番号          | 現状と課題                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価項目                                    | 具体的方策                                                                                                                  | 方策の評価指標                                                                                                         | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 学校運営協議会からの意見・要望・評価等 |  |
| 1           | ＜現状＞<br>○学力学習状況調査では、概ね良好な結果であるが、更に伸ばせる点も見られる。<br>○日頃の学習の様子から体験的な学習や調べたり、プレゼンテーションしたりする学習には意欲的に取り組む児童が多い。<br><br>＜課題＞<br>○短時間で中・長文の文章を読み取り、問題の意味を理解したり、短い文章で表現したりする力に課題がある。<br>○令和の日本型学校教育の理解を深め、タブレットを効果的に活用した授業、主体的対話的で深い学びの授業など今までの一斉授業を含め良き学びのための授業法を増やす。 | ・主体的・対話的で深い学びに必要な基礎学力の向上                | ①全学調、市学調を全職員で分析し、より向上させるための授業改善を検討し、実践する。また、実践状況を全体で共有する。【読み・書き・伝える・計算等】                                               | ①市学調の国算理社の結果が昨年度並みとなっているか。また、児童の意識調査で学びに向かう力が昨年度並みとなっているか。                                                      |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                              | ・学ぶ楽しさを実感する探究型授業の実現とワクワクする教科横断的な教育課程の編成 | ①全授業者が個の課題を設定し、学校課題研究を生かして「学び方」「教え方」を改革した授業を実践する。<br>②夢に繋がるワクワクする事業を実施する。（天体観望会/宇宙授業/東っ子まつり/学年の実態に則した夢に繋がる外部講師の招致)     | ①全授業者が管理職や指導者による参観及び指導を受ける。また教員アンケートで関連する項目の肯定的な回答が90%となったか。<br>②事業参加者の満足度90%となったか。また、各学年での外部講師招致による児童の変容があったか。 |           |     |             |                     |  |
| 2           | ＜現状＞<br>○市学調の「自分には良い所がある」の質問に、6 学年中 4 学年で市平均を下回っている。<br>○将来の夢や目標をもっている子は市平均より多い<br><br>＜課題＞<br>○いじめ認知件数が政令市平均より低いため、認知漏れが懸念される。<br>○安心して夢が語れる環境を整え、自己肯定感を高めたい。                                                                                               | ・一人ひとりへの細やかな教育支援・相談に向けた校内体制の充実          | ①いじめ対応に関わるシステムを見直し認知基準に関わる研修を充実させる。<br>②スクールカウンセラーの定着や Sola るーむ運用のシステム化を図る。                                            | ①政令市平均と比較していじめ認知件数の整合性と丁寧な見守りが図れたか。<br>②スクールカウンセラーの記録が習慣化されているか。Sola るーむ運用のルール（新規）の下、必要とする子が必要な時に使えるか。          |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                              | ・自己肯定感を高める取組                            | ①授業、学校生活、行事に児童が主体的に係れる場面を多く設定し、成功体験を実感させる。<br>②Sola ルームを必要とする子の個別指導を充実させ、出来る事を増やす。                                     | ①市学調の「自分には良い所がある」の項目で、6 学年中 4 学年で市平均を上回っているか。<br>②Sola ルームを利用した子について肯定的な行動変容が見られるか。                             |           |     |             |                     |  |
| 3           | ＜現状＞<br>○地域の学校への関心は高く、常時、多くの方が防犯ボランティアとして見守りを行っている。<br><br>＜課題＞<br>○学校の教育活動を保護者、地域に様々な手段で伝え、学校への関心を高め、「共育」を進める<br>○学校運営協議会についての認知度が低い（58%の保護者が知らないと回答）                                                                                                       | ・情報発信や学校公開の推進                           | ①学校ブログ・安心メール、各配付物で児童や学校の様子を適宜発信する。<br>②学校教育活動公開、授業公開、週 2 回の地域巡回を進め face to face の対話に努める。                               | ①4 月から 12 月までのブログアクセス数が昨年度（29,865 件）の 3 割増（38,824 件）となったか。<br>②学校教育活動公開、授業公開の満足度が 8 割となったか。地域巡回を週 2 回行えたか。      |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                              | ・学校運営協議会の活動の見える化                        | ①学校運営協議会の熟議内容をレポート、懇談会挨拶、安心メール、学校ブログ等を通して周知を図る。                                                                        | ①学校運営協議会の保護者認知度が 80% になったか。（昨年度 42%）                                                                            |           |     |             |                     |  |
| 4           | ＜現状＞<br>○屋上防水、校庭・プールの配管、トイレ等の老朽化や、児童数増加に伴う教室増等、その都度、工夫しながら対応している現状がある。<br><br>＜課題＞<br>○リフレッシュ工事の延期に伴い、修繕に関しては目の対応が求められており、関係機関との連携をより図っていく。                                                                                                                  | ・迅速な修繕個所の対応                             | ①修繕対応が必要な箇所は関係機関と調整し、対応の早期化を図る。<br>②安全第一の関係から、校内巡視(毎日)、安全点検(毎月)を徹底する。(通年)                                              | ①水回りに関する課題について関係機関との連絡調整を丁寧に行ったか。<br>②修繕個所の早期発見、早期対応が適切に行われたか。                                                  |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                              | ・学び方、働き方に関わる教育環境の整備                     | ①施設設備等の状況を把握し、教頭、事務、関係主任による計画的な予算執行、および校長マネジメントによる効果的な予算執行を実現する。                                                       | ①業務改善やチームワークを高める予算執行が行えたか。（意識調査）                                                                                |           |     |             |                     |  |
| 5           | ＜現状＞<br>○教職員の個の課題を明らかにし課題解決に向けた全体研修を行っている。<br>○ICT 機器に長けた職員が多く積極的に ICT を使用して業務を遂行している。<br><br>＜課題＞<br>○「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体化について授業改善を図っていく目的は共有されているが、具体的な方策について時間を要している。                                                                                    | ・「教師の学びと児童の学びの相形形」の実現（自走する研修）           | ①教師間の学び合いなど職員室文化の醸成を図る。<br>②本発表（1 月）に向けて、研究主題をもとに自ら学ぶ研修の実現と授業改善を行う。                                                    | ①自発的に授業を見せ合い議論する場がグループごとに見られたか。<br>②学校課題研究本発表（1 月）の本校教職員満足度 90%となったか。                                           |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                              | ・業務改善を進め、授業準備や子どもと向き合う時間の充実             | ①働きがいがあり、チーム対応力の高い職場風土の醸成を図る。<br>②業務改善を意識した仕事への取組 → スクラップ&ビルド ICT 活用 見える化の実現 会議の効率化(時間、内容、進め方等) 仕事のシェア チーム(組織)としての対応 等 | ①チームとして風通しが良く、雰囲気の良い教職員集団が実現できたか。（意識調査）<br>②タイムマネジメントを意識し業務にあたり、やりがいや満足感をもちながらも時間外在校時間の縮減に努めたか。                 |           |     |             |                     |  |